

News Release

報道関係各位

2015年11月17日

株式会社ゼンリン

VRの災害体験、建設・土木分野でのシミュレーション 「G空間 EXPO2015」に出展 ～3D都市モデルデータの活用事例を紹介～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山 善司、以下ゼンリン)は、2015年11月26日(木)～11月28日(土)まで、日本科学未来館(東京都江東区)で開催される地理空間情報をテーマとしたイベント「G空間 EXPO 2015」に出展します。ゼンリンブースでは、リアルな街を再現した「3D都市モデルデータ」を用いた、体験型の都市洪水・浸水シミュレーターや、建設・土木分野での活用事例などを紹介します。

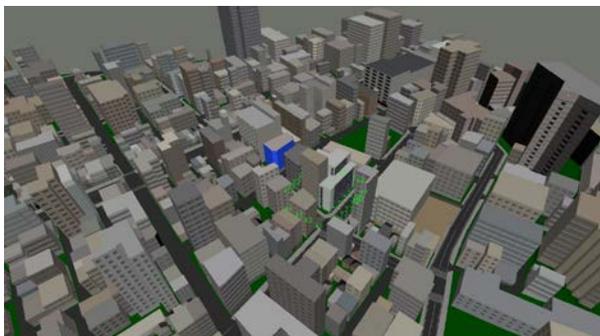
■主な展示内容

・体験型の都市、洪水・浸水シミュレーターを展示

実際のハザードマップを元にした洪水・浸水の様子を、VR^(※1)用ヘッドマウントディスプレイを使った没入感のある映像で体験できます。

・建設・土木分野における BIM^(※2)/CIM^(※3)での活用事例

・都市内部の風の流れを解析した流体シミュレーション



BIMで3D都市モデルデータを利用したイメージ

■G空間 EXPO2015 の概要

名称	G空間 EXPO2015		
会場	日本科学未来館(東京都江東区青海二丁目3番6号)	ゼンリンブース番号	20
会期	2015年11月26日(木)～28日(土)10:00～17:00(予定)	入場料	無料
主催	G空間 EXPO2015 運営協議会	URL	http://www.g-expo.jp/

※1:VR=Virtual Reality。仮想現実。CG や音響効果を組み合わせて、人工的に体験可能な現実感をつくり出す技術。

※2:BIM = Building information modeling。コンピュータで3Dの建物情報モデルを構成すること。

※3:CIM = Construction information modeling。BIMを土木分野に導入したもの。

※記載されている社名・商品名は、各社の登録商標、または商標です。